

目次

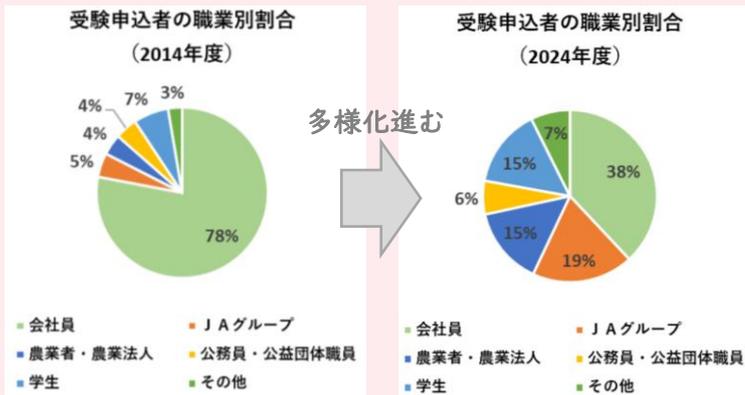
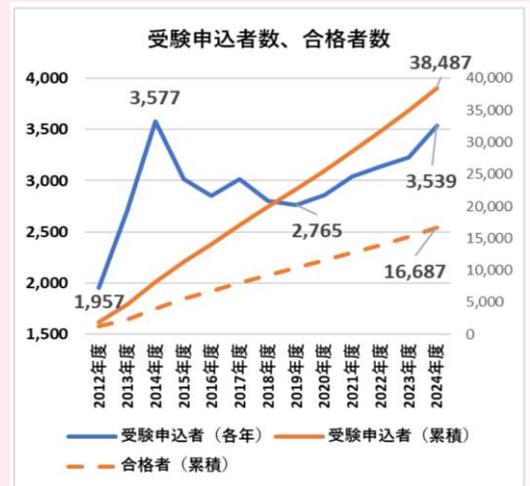
1. 2024 年度合格速報!
2. 十勝土壤医の会新設
3. 事業体土壤医の会紹介
ホーネンアグリ土壤医の会
4. 土壤医活躍中!
両総土壤医の会 長谷川智重さん
5. 土壤医が世界進出!?

1. 2024年度「土壤医検定」合格速報!

2024年度の土壤医検定試験の合格発表が3月26日にありました。
合格された皆さん、おめでとうございます!

■ 申込者数

今年度の試験の申込者は 3539 人と過去2番目の多さとなりました。前年比 308 人増で、職業別で見ると「JA グループ」が 299 人増、「農業者、農業法人」が 96 人増と農業の現場に近い方の受験が増えました。一方で、大学生や農業大学校生、農業高校生は計 119 人減と、学生の減少が目立ちました。



■ 試験会場

試験は新たに「栃木会場」と「広島会場」が設置され計 43 会場となり、受験しやすくなりました。

■ 合格率

1級の合格者は 27 名(合格率 29.3%)、2級の合格者は 423 名(合格率 35.9%)、3級の合格者は 1029 名(合格率 54.7%)でした。1級と2級の合格率は前年度より上がり、3級は同程度でした。

来年度(2025年度)の試験日程のご案内

9~11月 研修会申し込み受付
11~12月 研修会実施

10月28日(火)~12月8日(月) 検定願書受付
2月8日(日) 試験実施
3月25日(水)1~3級合格発表

2. 十勝土壤医の会が設立されました

2025年1月26日に、地域土壤医の会として「十勝土壤医の会」が設立されました。
正会員3名、準会員4名で活動を始めています。

- 会長 公益財団法人 日本特殊農作物種苗協会/十勝特産物センター 内海宏信さん
- 事務局:日本特殊農作物種苗協会/十勝特産物センター 事務局長:村上暁美さん

土壤医ネットワークの「出張講演や現地営農指導が可能な土づくり専門家リスト」に早速会員を掲載するなど積極的に活動を始めています。内海さんは、「土壤診断結果をもとにした小豆の施肥改善(クリーン農業への取組)」というテーマで2024年度の優良土づくり推進活動表彰で土壤医の会全国協議会会長賞を受賞しています。

3. 事業体土壤医の会紹介～ホーネンアグリさん～

■株式会社ホーネンアグリ株式会社の紹介

株式会社ホーネンアグリは、農業の生産現場を支える培養土と土壤改良材・土づくりの専門メーカーです。

社名のホーネンアグリは、「豊稔」+「農業」とも書き表すことができます。そこ込められた「豊かな稔り」と「農業発展」への願いは、私たちの揺るぎない原動力です。栄養豊富でおいしい農作物を育む農業は、それを口にする人々の健康を支え、ひいては地域社会、そして地球全体の持続的な発展と幸福へと繋がっていくと信じています。



その根幹を成すのは、まさに「豊かな土づくり」です。私たちは、経営理念に「豊かな土を創る」を掲げ、日々努力を重ねております。創業以来 50 年の歴史の中で出会った全ての皆様への感謝を胸に、これからもお客様、農業の発展、そして社会のために、全社一丸となって歩み続けてまいります。

■有機資源の有効活用

弊社ではモミガラや枝葉、草などの有機資源を有効活用した培養土や堆肥・土壤改良材を製造しています。これにより、土と太陽に育まれた有機物を再び土に還す、有機資源循環型のサイクルを確立しました。

この炭素循環は、地球全体の課題である気候変動の抑制に貢献する一方、良質な農作物をより多く収穫するという農業分野の課題解決にも直結しています。ホーネンアグリは、微生物と有機資源を活用し、豊かな実りをもたらす農業、そして持続可能な社会の実現に貢献していきます。

■ホーネンアグリ土壤医の会

製品の提供だけにとどまらず、お客様に寄り添い、農業における様々な課題や喜びを共有することを大切にしています。土づくりに関する知識と技術を研鑽しつつ、「どうしてもっとお客様に喜ばれるか?」と日々問いかけながら製品開発とサービス改善に取り組んでいます。

また、土づくりに関わる人材育成にも注力しております。部門や学部を問わず土壤医検定受験を推奨しており(現在1級2名、2級9名、3級10名が登録)、新卒内定者は入社前に受験するのが恒例となっています。弊社には農学部以外の出身者や農業未経験者も多くありますが、土壤医検定を通して専門性を高め、お客様と真摯に向き合い、共に成長していくことを目指しています。



ホーネンアグリさんにご寄稿いただきました。ありがとうございました!

4. 土壤医活躍中！～両総土壤医の会の長谷川智重さん～

■自己紹介

両総土壤医の会会長の長谷川と申します。
千葉県にて、主にネギ栽培をしている親元で就農して8年目の生産農家です。
また、Podcast 番組”土壤医ラジお”にて、土壤医ハセとして配信もしております。

■受験のきっかけ

土壤医取得のきっかけは、就農直後から作物の栽培がごとごとく失敗していたことが始まりです。

このままではいけないと、独学で勉強を始め、しばらくして土壤医検定と出会い
就農2年目の2019年に2級に合格。

1級の受験資格を満たした就農5年の際に、受験に挑戦し2022年の受験にて合格しました。

■活動の歴史等

1級受験資格の就農5年までの間に、両総土壤医の会設立、データ駆動型土づくり推進事業への参加、九州土壤医の会様との交流をきっかけにオンライン活動への取り組みが始まり、県外土壤医の会や、県内外問わず有資格者及び、土壤医検定受験を検討される方などとの交流もありました。



生産者及び普及指導員等への講師活動



普及指導員への土壌断面調査

この頃より、Podcast の存在を知り、土壌医検定受験勉強の交流を通じて知り合った方に手伝っていただきながら、自身でも”土壌医ラジお”という番組の配信を始めました。

これらの活動による新たな繋がりも広がりつつあります。

直近では、Youtube にて植物のこをを中心に勉強の楽しさを伝える動画を作られる三島彩子 a.k.a 植物たん(活動名)様の配信コーナーの一つである”ぷらんとーく”にて、お話しをさせていただきました。

動画内では、植物好きナリスナーの皆様に向けて、土壌断面調査や土壌診断の魅力を伝えつつ、雑草と作物や虫、微生物に纏わる情報等をお話ししております。

また、“千葉県内における普及指導センター(農業事務所)と農家の土壌医の連携構築を築き上げる為の、モデルケースとしての取り組み。”として、地域の現地活動も行っております。

地域の若手生産者や新規就農者に向けて、土壌肥料等についての講師活動。

また、若手県内普及指導員への土壌肥料等についての講師活動等も行っております。

それらを通して、「農家の土壌医」は地域の作物生産や土壌についての技術や知識、知見を言語化することで、生産現場と普及指導員との技術や知識、知見の橋渡しを通じて、異動等による新たな担当普及員へのスムーズな現地対応への移行を支援することに取り組んでおります。



普及指導員への、土壌病害に対するヘソデムの管理の実践圃場、リン酸減肥圃場、省力堆肥化設備現場の様子等

■最後に

土壌診断や土壌断面調査を通して、圃場管理の役に立ってほしいことと、生産者や関係者また一般の方にも、圃場の面白さや魅力、奥深さを知ってほしいと思っております。

今後も、現地活動もオンライン活動も楽しみながら続けていきたいと思っております。

土壌医ラジお

<https://open.spotify.com/show/5LXU2NmTHPi0HowG330dI3?si=9RgiRvQsQU2GHGxIVsXFIA>



ぷらんとーく

<https://www.youtube.com/live/BqqFduR-GmM?si=jvIIPM1iBhIYsxWI>

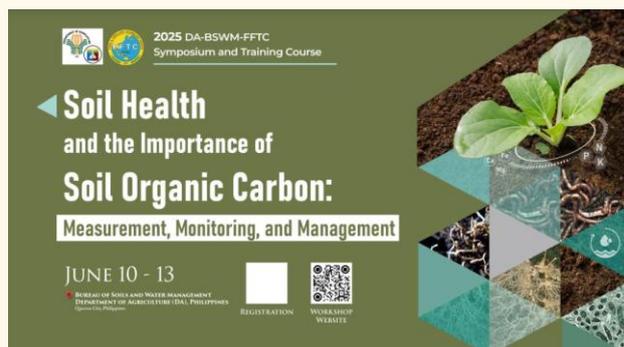


長谷川さんにご寄稿いただきました。ありがとうございました!

5. 土壌医が世界進出！？

フィリピンで開かれる国際シンポジウムで、日本土壌協会が世界に向けて土壌医を紹介します。

アジア太平洋地域食糧・肥料技術センター（FFTC）が開く「土壌の健康と有機炭素の重要性」というテーマのシンポジウムの一環で、「日本の土壌医の役割と最近の活動」というタイトルで発表します。



発表では土壌医の活躍を紹介する動画を流す予定です。

それに先立ち、先日土壌医の方を取材しました。写真は、上の「土壌医活躍中！」に寄稿して下さった長谷川さんです。

6月10日、フィリピン会場とオンラインの同時開催です。オンラインの聴講の登録はこちらから。

<https://km.fftc.org.tw/workshop/39?hash=0c693db6b3de3583c794f74bc53561ba>

編集後記

今年度もどうぞよろしくお願いいたします。本誌をより読みやすくするため、文字のフォントを「ユニバーサルデザインフォント」に変更しました。（丸山）

ご感想、ご寄稿等をお待ちしております。e-mail@soil-doctor.netまでお寄せ下さい。